

RAKULO

衣類乾燥機収納 [ラクロ]

取扱説明書

必ずお読みください



南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

- ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。
- お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。
- 設置する機器については、各機器に付属の説明書に従って正しくお使いください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。
(※2) 物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。



警告

家電製品の設置基準を守って設置する。

収納部で使用する家電製品は、各製品の取扱説明書に記載されている設置基準を守って配置してください。設置基準が守られていない場合、熱による変色・変形や発火などが発生するおそれがあります。



本製品は不燃・難燃・防熱・遮熱の仕様ではありませんので、家電製品の取り扱いには充分ご注意ください。

ご使用上のお願い



● 製品に直接水をかけない。

本製品に直接水をかけないようにしてください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。



● 粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。

表面化粧のはがれるおそれがあります。



● 油やインクの付着に注意する。

溶剤・薬品・油・インクなどが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。スライド式カウンターは水・薬品・汚れに強い仕様になっていますが、液体や汚れを長時間放置すると、不具合の原因となります。液体や汚れはすぐに拭き取ってください。



● ユニット内に洗剤類を収納する場合には、必ずキャップを閉める。

● ブラシなどの備品を収納する場合は、付着している洗剤類をよく洗浄する。

洗剤類の液漏れや気化ガスがユニット内を侵し、故障・腐食の原因となります。



● 洗剤・薬品などの付着に注意する。

洗剤類や、薬品類、石けんなどが製品に付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置すると表面化粧のシミや変色、木口材の変形や割れの原因となります。



● 暖房器具などを近づけない。

暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。反り・割れ・変色の原因となります。

● 室内環境によっては収納内部が結露する場合がありますので、結露が発生した場合は必ず拭き取りよく乾燥させてください。

コンセントを取り付けた場合

- コンセント付近に水の入ったものを置いたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。
- コンセントにゴミやホコリが付着しないように、定期的に掃除をしてください。火災・ショート・漏電・感電のおそれがあります。



注意



● 製品に乗らない。

棚板の落下などにより、けが・死亡事故につながるおそれがあります。



● ハンガーパイプやフックハンガーにぶらさがらない。

ハンガーパイプが破損したり、落下してけがををするおそれがあります。



● 扉の可動部や隙間には手を入れない。

手をはさんでケガををするおそれがあります。小さなお子様には充分ご注意ください。



● 耐荷重の目安を必ず守る。

棚板やハンガーに過度の重量物を置いたりすると、たわみ、変形が起こり、場合によっては落下してケガををするおそれがあります。(裏面、「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い

ステンレス素材について (対象パーツ: 網棚)

- ステンレスは鉄と比べて、強度が強く錆びにくい性質を持っていますが、表面は傷つきやすいので取り扱いにはご注意ください。
- ステンレスは素地のまま (塗装なし) で使用しますので、清掃の際には、裏面 **お手入れ** の内容を守ってご使用ください。
- 鉄やアルミなどの異種金属製品と接触させたまま長時間放置すると、サビの原因となりますのでご注意ください。
- 湿気や汚れを付着したまま放置すると、サビが発生するおそれがあります。こまめにお手入れしてください。

濃色柄について

- 濃色柄は、白い擦り跡のようなものが目立つ可能性があります。傷ではありません。 **お手入れ** の内容を守って拭くことで簡単に取り除くことができます。

お手入れ



● 日常のお手入れ方法

乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● 汚れがひどい場合

木質

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、良く乾燥させる。

ステンレス

市販されているステンレス専用クリーナーなどで磨く。
※金属たわしやナイロンたわしなどは傷がつくので使わないでください。



● 換気をする。

収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、十分な換気を行ってください。

耐荷重の目安値

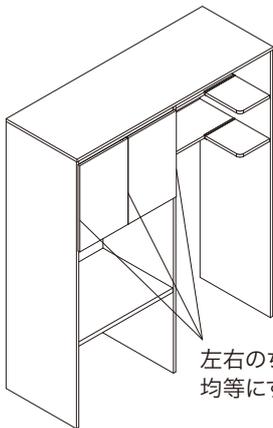
下記は耐荷重の目安値であり保証値ではありません。

パーツ	間口	耐荷範囲
天板	1300mm以内	30kg
重量用天板	840mm以内	80kg
棚板	900mm以内	20kg
連結棚板	—	3kg
網棚	450・600・800mm	20kg
L型棚板	800mm以内	20kg

パーツ	間口	耐荷範囲
重量用棚板	800mm以内	80kg
スライド式カウンター	800mm	20kg
フレーム引出し	600・800mm	10kg 引出し1段あたり
ハンガーパイプ	1300mm以内	30kg フックハンガーありの場合20kg
フックハンガー	1300mm以内	10kg
4連フック	—	9kg フック1箇所あたり3kg

開戸の調整方法

開戸を取り付け後、開戸と本体側板のちりが均等になるように、調整を行ないます。



左右のちりを均等にします。

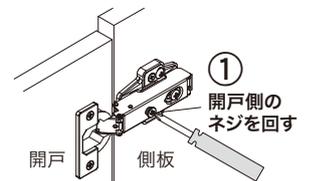
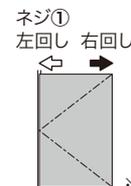
● 注意

開戸の調整後必ず2~3回開閉し、確実に取り付けられていることをご確認ください。

開戸の左右の位置を調節 (吊元: 左側の場合)

①のネジを左右に回して開戸の左右の位置を調整してください。

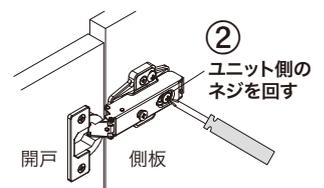
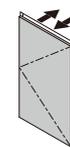
吊元	ネジ①	開戸
左側	右回し →	右に動く
	左回し ←	左に動く
右側	右回し →	左に動く
	左回し ←	右に動く



※吊元: 右側の場合は左表を参照ください。

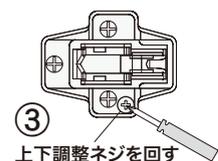
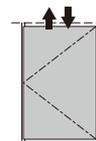
開戸とユニットの間隙を調節

②のネジをゆるめ開戸を前後に動かして調節し、適正な位置で締め直して固定してください。



開戸の上下を調節

座金にある③のネジをゆるめ開戸を上下に動かして調節し適正な位置で締め直して固定してください。



フックハンガーの設置位置について

● 注意

上段のハンガーパイプ1本に対して1セットのフックハンガーを設置してください。2セット以上を設置すると強度を保てない可能性があります。



幅が狭いフックハンガーの場合、上段のハンガーパイプの端に設置してください。中央に設置すると上段のハンガーパイプがたわむおそれがあります。

